

(今川路)曲直瀬道三(正盛) 医師。足利義輝以降、公武のトップ次々診察。医学校を開き、日本医学中興の祖に。

まなせどうさん

細川政元殺害1507 = 京都の商業盛んだった柳原で、近江源氏末裔堀部左門親真の子に生まれるも、翌日父が死去、
まもなく母も死去したため、伯母と姉に養育される。
体は弱かったが、頭脳明晰で大人を驚かせる。

..... 1514 = 7歳 : 近江国守山の天光寺に入門、
諸々の経典を学び、

大内対明貿易1516 = 9歳 :

義興周防掃国1518 = 11歳 :

..... 1519 = 12歳 : 京都の相国寺に移り、
作務のかたわら勉学に励み、詩文を良くしたが、

寧波の乱・・ 1523 = 16歳 :

..... 1525 = 18歳 : 一人前の僧侶になったのを機に、申し出て、

大内義興没・ 1528 = 21歳 : 学僧として足利学校に入学、

遣明船復活・ 1530 = 23歳 : 講義に来た名声高い下総古河の田代三喜の話聞き、

天王寺合戦・ 1531 = 24歳 : 会津柳津で会って入門が許され、師事、

..... 1534 = 27歳 : 中国金元医学(とりわけ李朱医学)を学ぶ。

鉄砲伝来・・ 1543 = 36歳 :

..... 1544 = 37歳 : 師が死去したため、曲直瀬道三と改名し、
..... 1545 = 38歳 : 京都に帰ると、名医の評判はたちまち広がり、
足利義輝將軍1546 = 39歳 : 還俗して医を専業とする。

勘合船終・・ 1547 = 40歳 : 將軍になった足利義輝に重用されて、茶道・香道など文化面を通じて朝廷・諸將に厚遇される一方、

ザビエル来日1549 = 42歳 :

李朱医学の日本化をはかり、医学校の啓迪院を開いて全国から医師を集め新しい医学教育を行い、その学風は全国をおおい当時の医界の天下者となった。

大友布教許可1552 = 45歳 : 松永久秀に性の指南書「黄素妙論」を授ける。

川中島の戦始1553 = 46歳 :

医学面だけでなく茶道・香道の文化面にも通じ、権力者の体の秘密を徹底して守ったことなどから、多くの戦国大名に信頼され、交友・厚遇された。

また、聚楽第の近くに、日本初の本格的医学校となる学舎{啓迪院}を建て、多くの門人を養成。

桶狭間の戦・ 1560 = 53歳 :

川中島最激戦1561 = 54歳 :

川中島の戦終1564 = 57歳 : 將軍義輝に命じられて毛利元就を診察治療し、以後親交。

..... 1566 = 59歳 : 陣中に元就を診察し、請われて家臣らに医学を講義、「雲陣夜話」としてまとめられた。

岐阜楽市楽座1567 = 60歳 : 元就の毛利家繁栄と諍諫の法を問われ、「雖苦齋一溪道三言上目録」を提出。松永久秀に「養生書」「仮名素女論」を贈る。

織田信長入京1568 = 61歳 :

石山合戦始・ 1570 = 63歳 :

三方原の戦・ 1572 = 65歳 :

室町幕府滅亡1573 = 66歳 :

長島一揆鎮圧1574 = 67歳 : *参内し正親町天皇を診察するとともに、「啓迪集」を献上。

長篠の戦・・ 1575 = 68歳 : 織田信長が来訪し、幻の香木蘭奢待を贈られる。

安土城築城・ 1576 = 69歳 : しばしば徳川家康に呼ばれる。

安土教会許可1579 = 72歳 :

ハリヤーノ謁見 1581 = 74歳 : 弟子の玄朔を孫娘と結婚させて養嗣とする。

本能寺の変・ 1582 = 75歳 : この年、玄朔も法眼になる。
フロイスの報告の中に、キリスト教学院長を診察したのが縁で入信し、

賤ヶ岳の戦・ 1583 = 76歳 : 官を辞したのに合せ、洗礼を受けたとされる。

豊臣秀吉関白1585 = 78歳 :

刀狩海賊取締1588 = 81歳 :

文禄の役・・ 1592 = 85歳 : 豊臣秀吉の朝鮮出兵に際し、主治医として養嗣の玄朔を肥前名護屋まで派遣。

伊ノ島通交・ 1594 = 87歳 : 没した。
「全九集」。

「戦国武將の養生訓」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、「本朝医人伝」、日本の古典名著、